

東京の博物館めぐり－42

渋谷区－2



平野 武宏

今回は渋谷区の博物館めぐり（2020年12月訪問）の続きです。区内にある博物館（記念館・資料館・展示館等の総称とします）から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。右上の写真は代々木上原にある東京ジャーミイ・トルコ文化センター（こぼれ話参照）です。

バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」の途中経過も報告します。

〔古賀政男音楽博物館〕 渋谷区上原 3-6-12

最寄駅 小田急線 代々木上原駅西口

「古賀政男音楽博物館」は駅から井の頭通りに出ると左手に見えます。「古賀政男」は明治大学在学中から作曲家を志し、「影を慕いて」を発表、卒業後はレコード会社に専属作曲家として迎えられ、以後、「古賀メロディー」と呼ばれる数多くの名曲を作曲しています。寅次郎、カラオケで多くの曲を歌わせていただきました。

代々木上原は、「古賀政男」が大学卒業後に移り住み、1938年（昭和13年）に居を構えた地です。この地に音楽創造にまい進する同士を集めて音楽村を創ろうとの構想を持っていました。その遺志を引き継いで誕生したのが「古賀政男音楽博物館」（写真下左）です。写真下右は入口です。



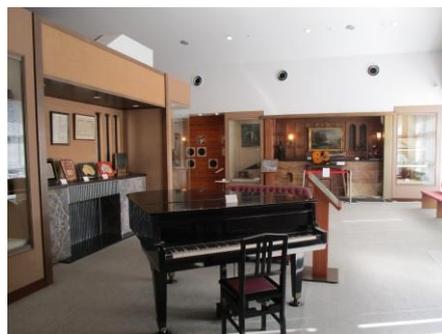
開館は 10 時～17 時。休館日は月曜日（休日の場合は翌日）、年末年始、展示切り替え期間です。入場料は通常の一般は 550 円ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止で見学できるのが 2 階・3 階なので 440 円（100 円引き）でした。

（通常の学生は 330 円、通常の小・中学生は 220 円です）

2 階の展示は「大衆音楽の殿堂」で日本の大衆音楽文化の発展に貢献した作詞家、作曲家、歌手、編曲家、演奏家等を顕彰し、その偉大な業績を称え、偲ぶ殿堂で各人のレリーフが並んでいます。3 階は「古賀政男の世界」で、旧古賀邸を再現しています。ここは撮影が可でした。写真下左は玄関の再現、写真下右は作曲活動の場の「書斎」を移設しました。



写真下左は「くつろぎの場」で親しい人との交流や日本調曲作りの発想の場の十畳間と六畳間を移設、写真下右は「レッスンの場」の一部を移設しています。



活動の状況（写真下左）やコレクション（写真下右）の展示もあります。



訪問時は閉鎖中でしたが、地下 1 階には「音楽情報室」、「カラオケスタジオ」があり、「見て・聴いて・歌える」博物館です。2020 年 11 月に終了したNHK連続テレビ小説「エール」の主人公の作曲家 古山裕一は古関裕而がモデルで親友の作曲家 木枯正人は古賀政男がモデルです。

[声優ミュージアム] 渋谷区笹塚 1-52-18 最寄駅 京王線 笹塚駅

駅から首都高速道路側に出て、右折して進むと「笹塚」信号手前にあります。新型コロナウイルス拡大防止で臨時休館中でしたが、以前に訪問した資料で紹介します。写真下左の建物のガラスには前の高速道路が写っています。



写真上右は入口です。2階に上がるとベテラン声優が所有する貴重な資料を始め、若手声優の紹介まで、声優の「歴史」と「今」に関する資料が展示されています。部屋の奥の棚には「声優神社」があり、ご神体はマイクでした。写真下左・右は訪問時いただいたパンフレットです。



駅前の甲州街道左側を直進、西新宿の交差点先に「地球儀のオブジェ」（写真下左）があります。その先左の新宿文化クイントビルが「文化服装博物館」入口（写真下右）で隣は「学校法人文化学園」です。甲州街道が区境で反対側は新

宿区です。



学校法人文化学園を母体とする日本では数少ない「服装専門の博物館」です。文化学園は1923年（大正12年）に創設され、現在では日本の服装教育の中心を担い、ファッション界に多くの人材を送り出しています。「文化学園服装博物館」は1979年（昭和54年）に開館、生活に欠かせない「衣」をテーマとした文化学園大学付属の服装専門の博物館です。1階ロビー（写真下左）以外は撮影禁止でした。訪問時は「世界の藍」（2020年12月18日まで）が1階・2階で開催されていました。展示を見ながらメモを取っている女性の姿がありました。



開館は10時～16時30分。休館日は日曜、祝日、年末年始、夏季休暇、展示替の期間です。入館料は一般500円、高・大学生300円、小・中学生200円です。

〔青山学院資料センター(間島記念館)〕 渋谷区渋谷 4-4-25

最寄駅 銀座線 表参道駅

青山学院大学の青山キャンパス内にありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係者以外が構内に入るのは難しそうですので、「寅さん歩 199 東京の学食めぐりー7」をご覧ください。

[こぼれ話] 東京ジャーミイ・トルコ文化センター

最寄駅 小田急線 代々木上原駅

駅を出て井の頭通りを「古賀政男音楽博物館」と反対側に進むと左にあります。トルコに行かなくともトルコ文化を学べ、日本で最大級の礼拝所（モスク）が見学できます。写真下は2階礼拝堂の内部です。カリグラフィーの装飾が施されています。流麗なアラビア語書体と簡潔な文章に込められた神のメッセージや預言者ムハンマドの言葉だそうです。



詳しくは「寅さん歩 153 東京にこんなところー7」をご覧ください。

[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道（道中）」と共用なので宇都宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年2月9日、福島市（江戸から280km）に到着しました。福島市は昭和時代に数々の行進曲、応援歌、校歌を手掛けた作曲家 古関裕而の出身地で福島市の名誉市民です。寅次郎の母校 神奈川県藤沢市立藤沢小学校の校歌、慶応義塾大学の応援歌も作曲していただきました。

新型コロナウイルス感染拡大で例会が中止となっています、運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバ

ーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐりー43 です。

平野 寅次郎 拝